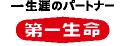
# 2016年3月期第3四半期決算報告

2016/2/12

第一生命保険株式会社





- 当第3四半期累計の連結業績は、増収・増益。プロテクティブの業績の取込みに加え、第一フロンティア生命の収支改善が主な要因。第一生命もヘッジ外債の積み増し等により高い利回りを確保し、順ざやを拡大。連結純利益(親会社株主に帰属する純利益)は通期予想を上回る進捗。
- 国内の保険販売が堅調に推移したほか、オーストラリアのTALが団体保険事業で大型の契約を獲得したこともあり、新契約・保有契約は大幅な成長を達成。また、プロテクティブが定期保険ブロックの買収を完了するなど、第一生命グループのグローバルな事業分散がさらに加速。
- 2015年12月末のグループ・エンベデッド・バリュー(試算値)は、9月末比で増加し、約5.7兆円。これまでのALMの取組や新契約の獲得等により、低金利環境下にあってもEEVが増加。

## 第一生命グループ業績 - 業績ハイライト



■ 子会社業績の貢献により、連結経常収益・連結経常利益・連結純利益<sup>(1)</sup>ともに前年同期比で増加

(億円)

		15/3期 3Q累計	16/3期 3Q累計(a)	前年同	司期比
連結経常収益		53,499	54,189	+690	+1%
	第一生命単体	34,588	31,038	△3,550	△10%
連	結経常利益	2,865	3,247	+381	+13%
	第一生命単体	2,803	2,367	△436	△16%
連	結純利益⑴	1,317	1,735	+418	+32%
	第一生命単体	1,313	1,055	△257	△20%

く参考>

2015/11/13	
発表予想(b)	進捗率(a/b)
70,960	76%
42,010	74%
3,690	88%
3,010	79%
1,610	108%
1,190	89%

<sup>(1)</sup> 連結純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を記載しています。



## ■ プロテクティブ社の業績の取込みに加え、第一フロンティア生命の収支改善が連結業績に貢献

## 連結損益計算書 (要約)(1)

(億円)

				(
		15/3期 3Q累計	16/3期 3Q累計	増減
経済		53,499	54,189	+690
	保険料等収入	39,460	41,663	+2,203
I -	資産運用収益	11,424	9,814	Δ1,610
	うち利息・配当金等収入	6,273	7,892	+1,619
	うち有価証券売却益	1,429	1,614	+184
	うち特別勘定資産運用益	3,191	_	△3,191
	その他経常収益	2,613	2,711	+97
経済	常費用	50,633	50,942	+308
	うち保険金等支払金	24,800	28,763	+3,963
	うち責任準備金等繰入額	17,421	10,569	△6,851
	うち資産運用費用	1,009	3,837	+2,828
	うち有価証券売却損	200	445	+245
	うち有価証券評価損	5	32	+26
	うち金融派生商品費用	292	452	+159
	うち特別勘定資産運用損	_	509	+509
	うち事業費	4,142	4,855	+712
経常	常利益	2,865	3,247	+381
特別	<b>削利益</b>	31	2	△29
特別	別損失	197	175	△22
契約	的者配当準備金繰入額 	784	722	△61
税会	金等調整前四半期純利益	1,915	2,351	+435
法人	人税等合計	597	615	+17
非3	支配株主に帰属する四半期純利益	0	0	Δ0
親会	会社株主に帰属する四半期純利益	1,317	1,735	+418

## 連結貸借対照表(要約)

(億円)

			(応1)/
	15/3末	15/12末	増減
資産の部合計	498,372	501,297	+2,925
うち現預金・コール	12,538	11,470	△1,067
うち買入金銭債権	2,658	2,466	△191
うち有価証券	411,054	416,784	+5,730
うち貸付金	38,981	37,538	△1,443
うち有形固定資産	12,170	12,091	△78
うち繰延税金資産	13	11	Δ2
負債の部合計	462,472	469,268	+6,796
うち保険契約準備金	425,470	434,618	+9,148
うち責任準備金	416,347	425,477	+9,130
うち退職給付に係る負債	3,313	3,371	+57
うち価格変動準備金	1,362	1,503	+140
うち繰延税金負債	6,433	4,170	△2,263
純資産の部合計	35,899	32,028	△3,870
うち株主資本合計	10,296	11,404	+1,108
うちその他の包括利益累計額合計	25,594	20,614	△4,980
うちその他有価証券評価差額金	25,282	20,419	△4,863
うち土地再評価差額金	△334	△350	△16

<sup>(1)</sup> 特別勘定資産運用損益は、責任準備金の戻入れ/繰入れで相殺されるため、 経常利益に影響するものではありません。

## 第一生命グループ業績 - グループ各社の業績



	【第一生命】		【第一フロンティア生命】 【米プロテクティブ】(1)(2)		【豪TAL】 <sup>(2)</sup>		【連結】								
			(億円)			(億円)		(百	万米ドル)		(百	万豪ドル)			(億円)
	15/3期 3Q累計	16/3期 3Q累計	前年 同期比	15/3期 3Q累計	16/3期 3Q累計	前年 同期比	1	16/3期 3Q累計	前年 同期比	15/3期 3Q累計	16/3期 3Q累計	前年 同期比	15/3期 3Q累計	16/3期 3Q累計	前年同期比
経常収益	34,588	31,038	△10%	16,877	15,203	△10%		4,910		2,362	2,378	+1%	53,499	54,189	+1%
保険料等収入	23,166	21,009	△9%	14,185	14,517	+2%		3,373		2,067	2,229	+8%	39,460	41,663	+6%
資産運用収益	8,852	7,786	△12%	2,692	685	△75%		1,247		193	21	△89%	11,424	9,814	△14%
経常費用	31,785	28,671	△10%	16,953	14,704	△13%		4,633		2,212	2,249	+2%	50,633	50,942	+1%
保険金等支払金	19,797	20,060	+1%	3,677	3,942	+7%		2,910		1,355	1,440	+6%	24,800	28,763	+16%
責任準備金等繰入額	4,800	1,318	△73%	12,421	8,505	△32%		464		313	220	△30%	17,421	10,569	△39%
資産運用費用	1,201	1,796	+50%	71	1,427	+1,886%		605		28	47	+67%	1,009	3,837	+280%
事業費	2,926	2,959	+1%	703	743	+6%		498		433	459	+6%	4,142	4,855	+17%
経常利益(△は損失)	2,803	2,367	△16%	△ 75	498			276		150	128	△14%	2,865	3,247	+13%
特別利益	29	2	△93%					0					31	2	△93%
特別損失	183	154	△16%	14	20	+48%					0		197	175	△11%
純利益(Δは損失) <sup>(3)</sup>	1,313	1,055	△20%	△ 90	434			187		109	99	△9%	1,317	1,735	+32%

<sup>(1)</sup> 米プロテクティブの数値は、2015年2-9月の実績です。

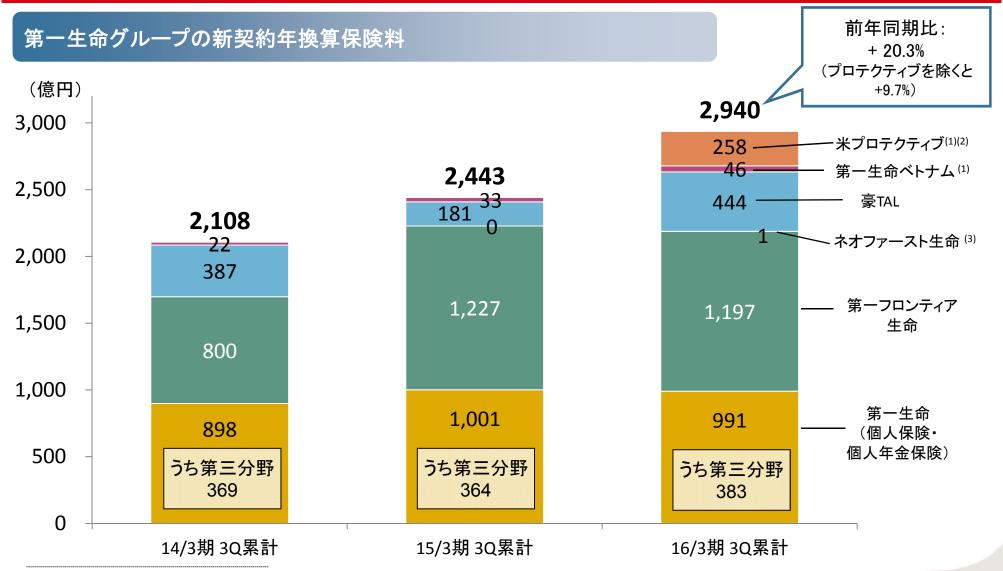
<sup>(2)</sup> 米プロテクティブおよび豪TALの数値は、各国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しています。連結の際には、それぞれ1米ドル=119.96円、 1豪ドル=98.07円(15/3期3Q)、87.92円(16/3期3Q)で円換算しています。

<sup>(3)</sup> 連結純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を記載しています。

## 第一生命グループ業績 - 新契約動向(年換算保険料ベース)

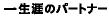
#### 一生涯のパートナー

#### 第一生命

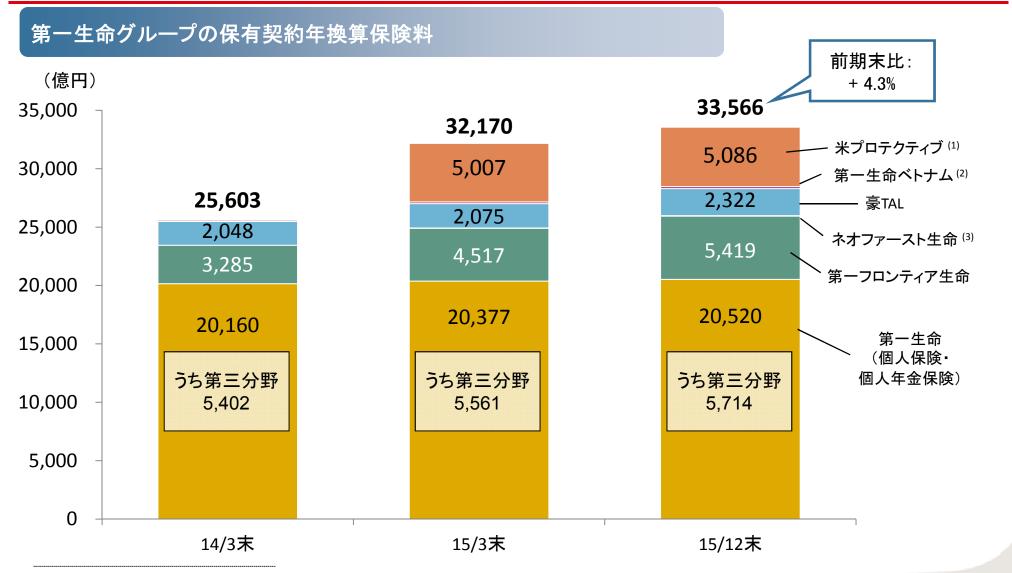


- (1) 米プロテクティブ、第一生命ベトナムの決算日は12月31日です。
- (2) 米プロテクティブの実績は、16/3期3Q累計のみを記載しています。
- (3) ネオファースト生命の実績は15/3期7-12月、16/3期3Q累計のみを記載しています。

## 第一生命グループ業績 - 保有契約動向(年換算保険料ベース)





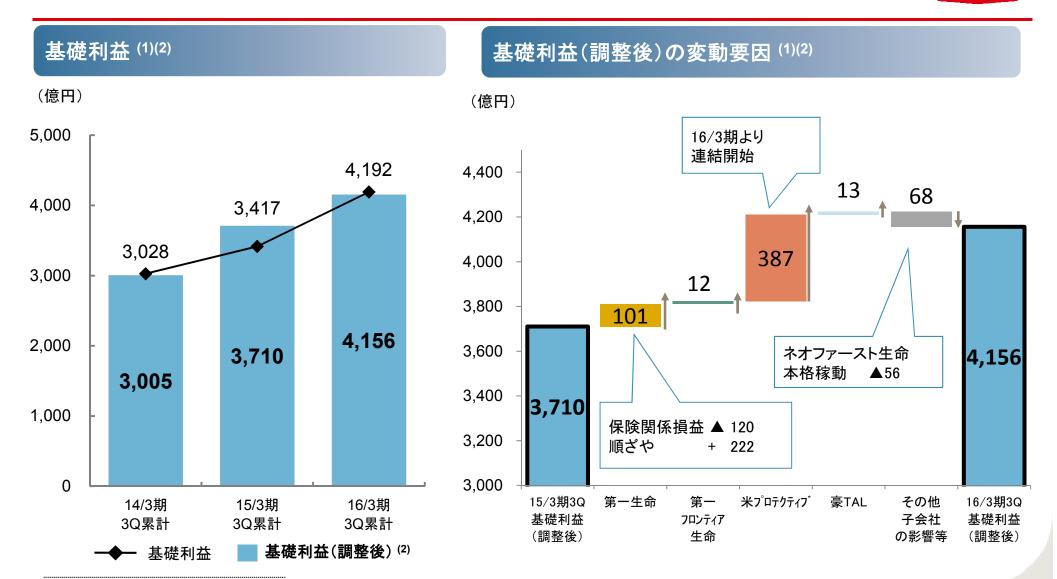


<sup>(1)</sup> 米プロテクティブの決算日は12月31日です。15/3末の実績は完全子会社化(2015年2月1日)時点の数値を記載しています。

<sup>(2)</sup> 第一生命ベトナムの決算日は12月31日です。14/3末、15/3末、15/12末の実績はそれぞれ108億円、155億円、179億円です。

<sup>(3)</sup> ネオファースト生命については、完全子会社化以降の実績を記載しています。15/3末、15/12末の実績は、それぞれ37億円、37億円です。





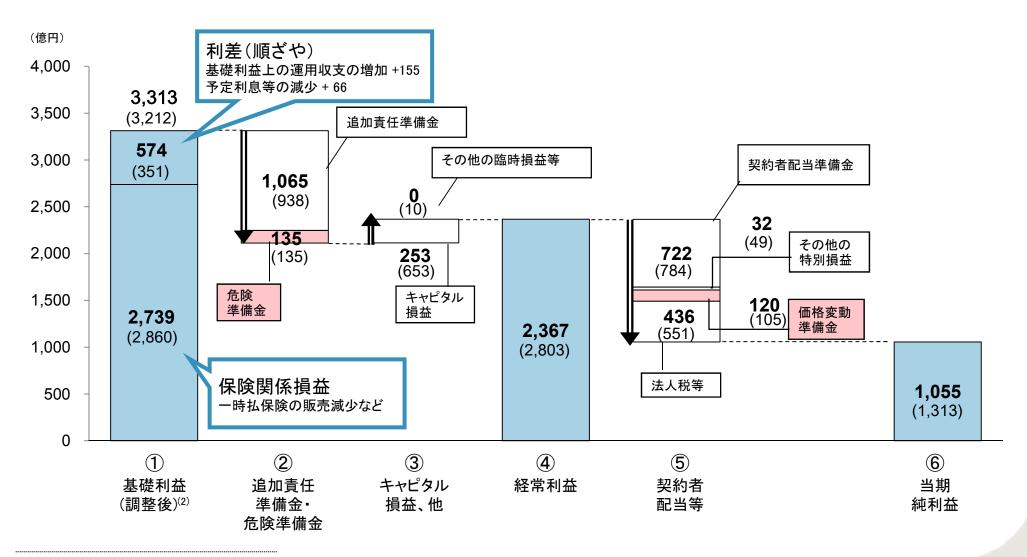
<sup>(1)</sup> 第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命(15/3期7-12月、16/3期3Qのみ)の基礎利益、米プロテクティブ(16/3期3Qのみ)の税引前営業利益、TALの修正利益(税引前換算)、第一生命ベトナムの税引前利益を合算し、第一生命グループ内の内部取引の一部を相殺。

<sup>(2)</sup> 基礎利益(調整後)= 基礎利益 ± 変額保険の最低保証リスクに係る責任準備金繰入(戻入)額 ± 定額保険の市場価格調整に係る責任準備金繰入(戻入)額。 ただし、市場価格調整(MVA)に係る責任準備金繰入/戻入のうち、為替差損益勘定で相殺され、経常利益に影響を及ぼさない部分を除く

## 第一生命単体業績 - 当期純利益の状況(1)





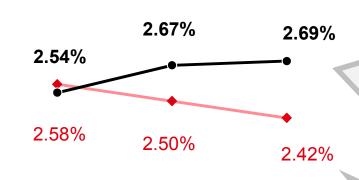


<sup>(1)</sup> 前年同期の数値を()内に記載しています。

<sup>(2)</sup> 基礎利益(調整後)= 基礎利益 ± 変額保険の最低保証リスクに係る責任準備金繰入(戻入)額 ± 定額保険の市場価格調整に係る責任準備金繰入(戻入)額

#### 第一生命

#### 予定利率と基礎利回り



- ・ 超低金利が継続する中に あっても、ヘッジ外債の積 み増し等により高い利回り を確保し、<u>順ざやが拡大</u> (前年同期比)
- 円建確定利付き資産<sup>(1)</sup>の デュレーションは14年台半 ば

18/3(予)



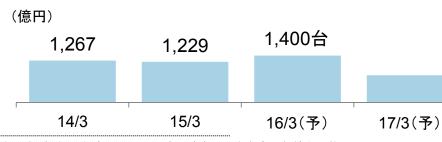
14/3Q3 15/3Q3 16/3Q3

→ 平均予定利率

━ 基礎利益上の運用収支等の利回り

・ 追加責任準備金の新規繰入れと、金利動向を踏まえた 予定利率の設定により、平均<u>予定利率は下降トレンドを</u> 維持

#### 追加責任準備金 新規繰入額(2)

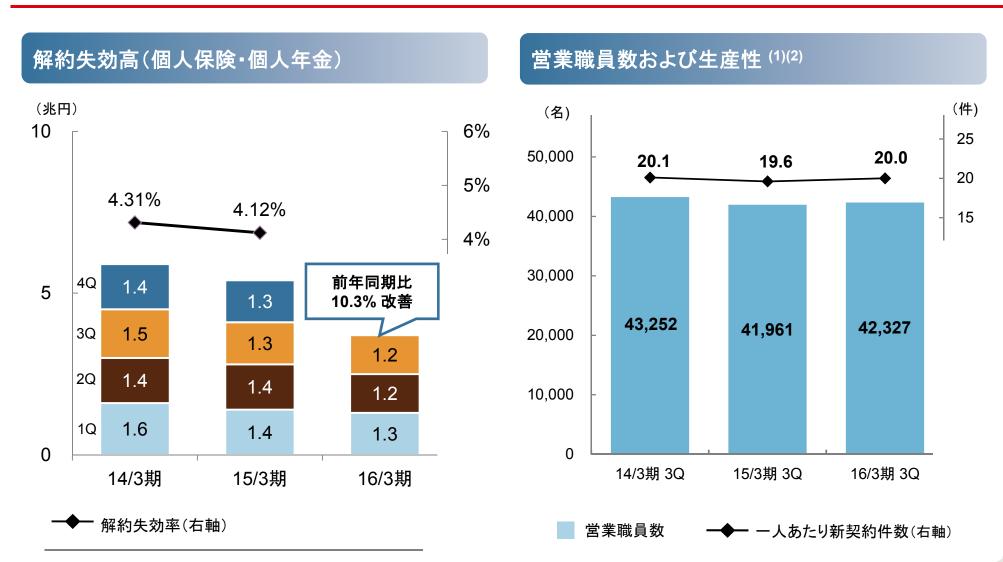


・順ざやを踏まえ、マイナス金利となった現時点においても、追加 責任準備金の繰入計画に変更 の予定は無い

- (1) 個人保険・個人年金にかかる円建の確定利付き資産の数値を記載
- (2) 1996年3月以前加入の終身保険のうち、払込満了後契約を対象とした金額を記載

## 第一生命単体業績 - 解約失効高、営業職員数および生産性



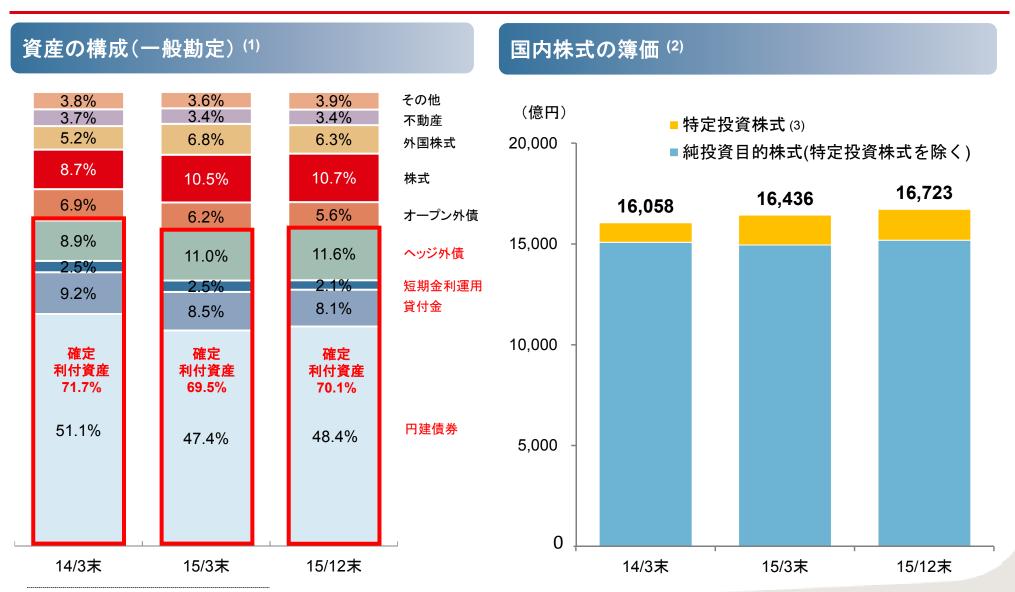


<sup>(1)</sup> 営業職員については、第一生命と委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしている者のうち、その他補助的業務に従事する者を除いております。

<sup>(2)</sup> 各期間における新契約件数(転換含む)を分子、各期間の営業職員数(補助的業務に従事する者を除く)の平均値を分母として計算しています。

## 第一生命単体業績 - 一般勘定資産運用の状況





<sup>(1)</sup> 貸借対照表価額ベース

<sup>(2)</sup> 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く)。

<sup>(3)</sup> 純投資目的以外の目的で保有する株式(非上場国内株式、みなし保有株式は除く)。

## 第一生命単体業績 - 健全性指標

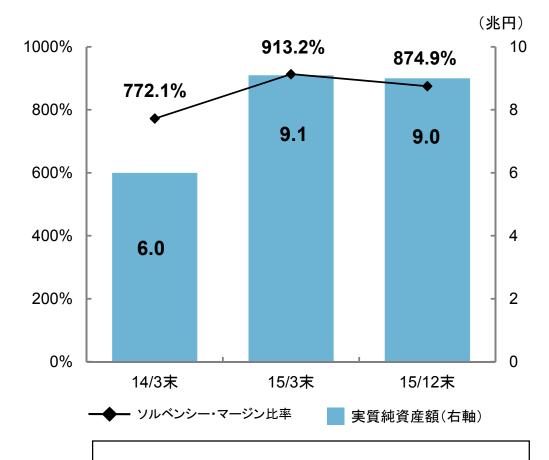


## 含み損益(一般勘定)

(億円)

		15/3末	15/12末	増減
有価証券		54,917	52,480	△2,436
	国内債券	22,368	25,464	+3,096
	国内株式	17,856	17,427	△428
	外国債券	10,116	6,422	△3,694
	外国株式	3,892	2,741	△1,150
不	動産	755	973	+217
そ	の他共計	55,507	53,321	△2,185

## ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額



<参考> 連結ソルベンシー・マージン比率: 2015年12月末 768.2%

## 連結子会社業績 - 第一フロンティア生命



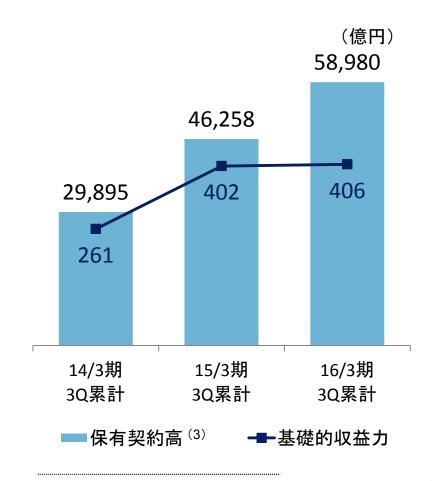
## 収支の状況

(億円)

		<u>(怎円)</u>
	15/3期 3Q累計	16/3期 3Q累計
経常収益	16,877	15,203
うち保険料等収入 (1)	14,185	14,517
うち変額商品	1,458	1,278
うち円建定額商品	2,164	2,550
うち外貨建定額商品	9,187	9,153
うち資産運用収益	2,692	685
うち最低保証リスクに対するヘッジ利益(A)	_	ı
経常費用	16,953	14,704
うち責任準備金等繰入額(△は戻入)	12,421	8,505
うち最低保証リスクに係る責任準備金 繰入額(B)	26	167
うち市場価格調整(MVA)に係る責任準 備金繰入額(C) (2)	274	△ 198
うち危険準備金繰入額(D)	133	△ 53
うち資産運用費用	71	1,427
うち最低保証リスクに対するヘッジ損失(E)	58	57
経常利益(Δは損失)	△ 75	498
純利益(Δは損失)	△ 90	434
純利益 -(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	402	406

#### (1) 定額部分と変額部分を組み合わせた商品は定額商品に分類

## 保有契約高と基礎的収益力



<sup>(3)</sup> 保有契約高は各期間の末日時点

<sup>(2)</sup> 市場価格調整(MVA)に係る責任準備金繰入/戻入のうち、為替差損益勘定で 相殺されて、経常利益に影響を及ぼさない部分を除く

- 危険差益、運用収益が良好に推移し、税引前営業利益は約322百万ドル、純利益は約187百万ドル と、予算超過ペース。
- ジェンワース・フィナンシャル社の傘下の保険会社が保有する定期保険ブロックの買収を1月に完了。 同ブロックは2017年3月期から連結利益への貢献を開始。

#### 主要業績

(百万米ドル)

	(日力米トル)
	16/3期 3Q累計
	旧糸りの
生保事業	29.6
買収事業	132.9
年金事業	133.3
ステーブルハブリュー事業	28.2
アセットプロテクション事業	15.2
コーホ゜レート	△ 16.8
税引前営業利益 Pre-tax Operating Earnings	322.6
	4 4 7 2 2
キャピタル損益(運用収支)	$\triangle$ 150.0
キャピタル損益(金融派生商品損益)	104.3
法人税等	△ 89.8
当期利益	187.1

#### <参考>

	15/9末
為替レート(米ドル)	119.96

#### セグメント業績動向

#### 【生保事業】

一時的な支出の増加と想定以上の解約などにより、営業利益は予算未達ペース。

#### 【買収事業】

想定以上の危険差益があり、営業利益は予算超過ペース。

#### 【年金事業】

定額年金における想定以上の運用収益と危険差益により、営業利益はわずかに予算超過ペース。

#### 【ステーブルハリュー事業】

利差益の拡大により、営業利益は予算超過ペース。

#### 【アセットプロテクション事業】

主力損保商品(主に車両保険)の好調な販売により、営業利益は予算超過ペース。

- (1) 米プロテクティブの決算日は12月31日です。16/3期3Qの実績は、子会社化(2015年2月1日)以降、同年9月までの8ヶ月間の実績です。
- (2) 税引前営業利益(Pre-tax Operating Earnings)とは、当期利益から資産運用やデリバティブにおけるキャピタル損益を控除した利益指標です。

#### 主要業績

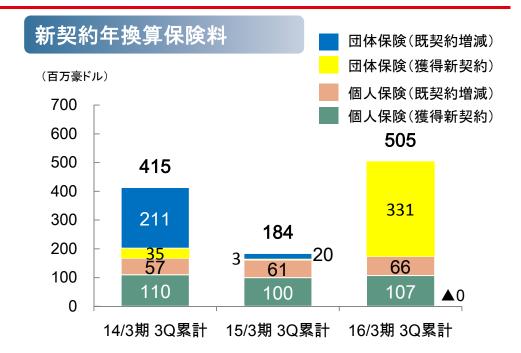
(百万豪ドル)

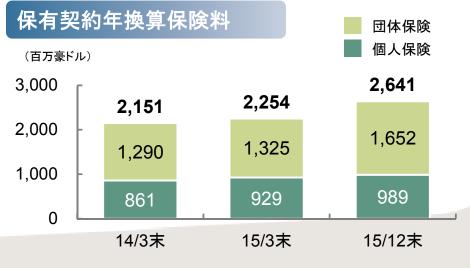
(白刀家[7]//					
		15/3期 3Q累計	16/3期 3Q累計	前年 同期比	
経常	的収益 (2)	2,362	2,378	+1%	
	うち保険料等収入(2)	2,067	2,229	+8%	
経常	<b>宮利益</b> (2)	150	128	△14%	
純禾	刂益(A) (2)	109	99	△9%	
修』	E額(B)	6	40		
	うち負債割引率の変化	△ 20	2		
	うち償却負担	16	15		
	その他	11	23		
修正利益=(A)+(B) (Underlying profit)		116	140	+21%	

#### 〈参考〉

	14/12末	15/12末
為替レート(豪ドル)	98.07円	87.92円

<sup>(1)</sup> 連結対象の豪持株会社(TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd)に係る数値





<sup>(2)</sup> オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております(修正額及び修正利益を除く)

## 第一生命グループ業績予想 - 2016年3月期業績予想



- 11月に発表した修正予想に対して高い進捗。特に連結純利益(1)は通期予想を上回る進捗。
- 第4四半期には法人実効税率の引き下げに伴う繰延税金資産の取り崩しが見込まれることに加え、 足もとの金融市場環境を踏まえ、予想を据置き。 (億円)

			\
	15/3期	16/3期(予) ※2015/11/13 発表予想	増減
連結経常収益	72,522	70,960	△ 1,562
第一生命単体	47,984	42,010	△ 5,974
第一フロンティア	21,575	16,770	△ 4,805
プロテクティブ(百万米ドル)	_	7,630	+ 7,630
TAL(百万豪ドル)	3,166	3,390	+ 223
連結経常利益	4,068	3,690	△ 378
第一生命単体	4,087	3,010	△ 1,077
第一フロンティア	△ 197	140	+ 337
プロテクティブ(百万米ドル)	_	340	+ 340
TAL(百万豪ドル)	184	150	△ 34
連結純利益(1)	1,424	1,610	+ 185
第一生命単体	1,521	1,190	△ 331
第一フロンティア	△ 219	110	+ 329
プロテクティブ(百万米ドル)	_	230	+ 230
TAL(百万豪ドル)	131	100	Δ 31
1株当たり配当金	28円	35円	+7円

(1) 連結純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を記載しています。

#### (参考:基礎利益)

第一生会グループ	4.720	5 100	+379
	4,720	5,100柱及	+3/9
第一生命単体	4,582	4,400程度	△ 182

## EEV - ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー(1)



#### ■ グループEEVは増加し、約5兆7,800億円に

- 金利の更なる低下を受け第一生命の保有契約価値が減少するも、修正純資産は増加し、EEVが増加
- グローバルな事業分散により、グループEEVが増加

## 第一生命グループのEEV(試算値)

(億円)

		15/9末	15/12末	増減
EEV		56,265	5 約57,800 約十	
	修正純資産	50,151	約54,700	約十4,600
	保有契約価値	6,113	約3,000	約△3,100

#### 第一生命単体(試算値)

(億円)

		15/9末	15/12末	増減
EEV		54,898	約56,200	約十1,300
	修正純資産	52,830	約57,300	約十4,500
	保有契約価値	2,067	約△1,100	約△3,200

#### 第一フロンティア生命(試算値)

(億円)

		15/9末	15/12末	増減
EEV		2,661	約2,800	約+200
	修正純資産	1,491	約1,400	約△100
	保有契約価値	1,169	約1,400	約+200

## EEV - ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー(2)



#### プロテクティブ(試算値)

(億円)

		15/6末	15/9末	増減
EEV		5,598	約5,500 約△	
	修正純資産	3,794	約3,900	約十100
	保有契約価値	1,804	約1,600	約△200

15/6末EEV: 15/6末の為替レート(1米ドル=122.45円)を使用 15/9末EEV: 15/9末の為替レート(1米ドル=119.96円)を使用

## プロテクティブ(米ドルベース、試算値)(百万米ドル)

		15/6末	15/9末	増減
E	EV	4,572	約4,600	約△0
	修正純資産	3,098	約3,300	約+200
	保有契約価値	1,473	約1,300	約△200

#### TAL(試算值)

(億円)

		15/9末	15/12末	増減
EEV		2,281	約2,500	約十200
	修正純資産	1,210	約1,400	約十200
	保有契約価値	1,070	約1,200	約+100

15/9末EEV: 15/9末の為替レート(1豪ドル=84.06円)を使用 15/12末EEV: 15/12末の為替レート(1豪ドル=87.92円)を使用

#### TAL(豪ドルベース、試算値)

(百万豪ドル)

		15/9末	15/12末	増減
EEV		2,713	約2,900	約十200
	修正純資産	1,439	約1,500	約十100
	保有契約価値	1,273	約1,300	約十100

## 参考データ



## 損益計算書(1)

(億円)

		15/3期 3Q累計	16/3期 3Q累計	増減
経常収益		34,588	31,038	△3,550
	保険料等収入	23,166	21,009	△2,157
	資産運用収益	8,852	7,786	△1,065
	うち利息・配当金等収入	5,898	5,891	△6
	うち有価証券売却益	1,314	1,517	+203
	うち特別勘定資産運用益	1,465	54	△1,410
	その他経常収益	2,569	2,242	△327
経	常費用	31,785	28,671	△3,114
	うち保険金等支払金	19,797	20,060	+263
	うち責任準備金等繰入額	4,800	1,318	△3,481
	うち資産運用費用	1,201	1,796	+595
	うち有価証券売却損	200	432	+232
	うち有価証券評価損	5	13	+7
	うち金融派生商品費用	261	445	+183
	うち事業費	2,926	2,959	+33
経	常利益	2,803	2,367	△436
特	別利益	29	2	△27
特	別損失	183	154	△28
契約者配当準備金繰入額		784	722	△61
税引前純利益		1,865	1,492	△373
法	人税等合計	551	436	△115
純	利益	1,313	1,055	△257

## 貸借対照表

(億円)

		15/3末	15/12末	増減	
資產	の部合計	368,287	364,097	△4,190	
	うち現預金・コール	10,187	8,112	△2,075	
	うち買入金銭債権	2,597	2,405	△191	
	うち有価証券	306,733	306,659	△73	
	うち貸付金	30,292	28,598	△1,694	
	うち有形固定資産	12,032	11,949	△82	
負債	の部合計	332,774	331,589	△1,184	
	うち保険契約準備金	304,496	305,610	+1,114	
	うち責任準備金	298,409	299,593	+1,184	
	うち危険準備金	5,580	5,715	+135	
	うち退職給付引当金	3,894	3,874	△20	
	うち価格変動準備金	1,324	1,444	+120	
	うち繰延税金負債	4,138	2,435	△1,702	
純資	<b>登産の部合計</b>	35,513	32,507	△3,006	
	うち株主資本合計	11,073	11,677	+603	
	うち評価・換算差額等合計	24,432	20,820	△3,611	
	うちその他有価証券評価差額金	24,886	21,259	△3,626	
	うち土地再評価差額金	△334	△350	△16	

<sup>(1)</sup> 特別勘定資産運用損益は、責任準備金の戻入れ/繰入れで相殺されるため、 経常利益に影響するものではありません

## 参考データ - 第一フロンティア生命財務諸表(要約)



## 損益計算書

## 貸借対照表

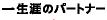
(億円)

(億円)

		15/3期 3Q累計	16/3期 3Q累計	増減
経	常収益	16,877	15,203	△1,674
	うち保険料等収入	14,185	14,517	+332
	うち資産運用収益	2,692	685	△2,007
経	常費用	16,953	14,704	△2,248
	うち保険金等支払金	3,677	3,942	+265
	うち責任準備金等繰入額	12,421	8,505	△3,915
	うち資産運用費用	71	1,427	+1,355
	うち事業費	703	743	+39
経	常利益(△は損失)	△75	498	+573
特是	引損益	△14	△20	△6
税引前純利益(△は損失)		△89	477	+566
法人税等合計		0	43	+42
純	利益(△は損失)	△90	434	+524

			15/3末	15/12末	増減
産の	部	合計	49,372	58,406	+9,033
うち	現	!預金・コール	813	1,065	+252
うち	有	価証券	47,154	55,891	+8,737
責の	部	合計	48,798	57,508	+8,709
うち	保	除契約準備金	48,116	56,621	+8,505
	ゔ	ち責任準備金	48,070	56,562	+8,491
		うち危険準備金	1,203	1,149	△53
資産	の	部合計	574	898	+324
うち	株	主資本合計	184	618	+434
	資	本金	1,175	1,175	_
	資	本剰余金	675	675	_
	利	益剰余金	△1,665	△1,231	+434
	うちうち	う う う う う た う た の た を う た の た の た の の の の の の の の の の の の の	産の部合計  うち現預金・コール うち有価証券  責の部合計  うち保険契約準備金  うち責任準備金 うち危険準備金 うち危険準備金 資産の部合計  うち株主資本合計 資本金 資本剰余金 利益剰余金  利益剰余金	産の部合計 49,372 55現預金・コール 813 55有価証券 47,154 48,798 55保険契約準備金 48,116 うち責任準備金 48,070 うち危険準備金 1,203 資産の部合計 574 55株主資本合計 184 資本金 1,175 資本剰余金 675	産の部合計 49,372 58,406    うち現預金・コール 813 1,065     うち有価証券 47,154 55,891     責の部合計 48,798 57,508     うち保険契約準備金 48,116 56,621     うち責任準備金 48,070 56,562     うち危険準備金 1,203 1,149     資産の部合計 574 898     うち株主資本合計 184 618     資本金 1,175 1,175     資本剰余金 675 675

## 参考データ - 米プロテクティブ財務諸表(要約)





#### 損益計算書 (1)(2)

#### 貸借対照表 (1)(2)

(百万米ドル)

16/3期 3Q累計 経常収益 4,910 保険料等収入 3.373 資産運用収益 1.247 その他経常収益 289 経常費用 4,633 保険金等支払金 2,910 責任準備金等繰入額 464 資産運用費用 605 事業費 498 その他経常費用 155 経常利益 276 法人税等合計 89 純利益 187 \_(百万米ドル)

	15/2/1	15/9末	増減
	70,966	68,628	△2,338
うち現預金	463	664	+201
うち有価証券	53,287	50,668	△2,618
うち貸付金	7,333	7,438	+104
うち有形固定資産	111	111	Δ0
うち無形固定資産	2,712	2,668	△44
うち のれん	735	735	_
うち その他の無形固定資産	1,959	1,916	△43
うち再保険貸	202	160	△42
負債の部合計	65,412	63,823	△1,589
うち保険契約準備金	58,844	57,601	△1,243
うち再保険借	252	239	△12
うち社債	2,311	2,232	△78
うちその他負債	2,338	2,504	+165
純資産の部合計	5,554	4,805	△748
うち株主資本合計	5,554	5,741	+187
うちその他の包括利益累計額合計	_	△935	△935

<sup>(1)</sup> 米国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております。

<sup>(2)</sup> 米プロテクティブの決算日は12月31日です。16/3期3Qの実績は、子会社化(2015年2月1日)以降、同年9月までの8ヶ月間の実績です。



## 損益計算書 (1)(2)

(百万豪ドル)

(日万家トル)				
	15/3期 3Q累計	16/3期 3Q累計	増減	
経 <u>常収益</u>	2,362	2,378	+15	
保険料等収入	2,067	2,229	+161	
資産運用収益	193	21	△171	
その他経常収益	101	127	+26	
経常費用	2,212	2,249	+37	
保険金等支払金	1,355	1,440	+84	
責任準備金等繰入額	313	220	△92	
資産運用費用	28	47	+19	
事業費	433	459	+26	
その他経常費用	81	81	Δ0	
経常利益	150	128	△21	
法人税等合計	40	29	Δ11	
純利益	109	99	△10	
修正利益				
(Underlying profit)	116	140	+24	

## 貸借対照表 (1)(2)

(百万豪ドル)

		15/3末	15/12末	増減
資產	産の部合計	6,674	6,978	+303
	現預金	924	1,240	+316
	有価証券	3,070	2,900	△169
	有形固定資産	1	0	Δ0
	無 <u>形固定資産</u>	1,235	1,214	△21
	のれん	786	786	-
	その他無形固定資産	449	427	△21
	再保険貸	116	132	+16
	その他資産	1,326	1,489	+163
負債	責の部合計	4,641	4,845	+203
	保険契約準備金	3,340	3,465	+125
	再保険借	335	338	+3
	その他負債	859	951	+92
	繰延税金負債	106	89	△16
純貧	資産の部合計	2,033	2,132	+99
	株主資本合計	2,033	2,132	+99
	資本金	1,630	1,630	_
	利益剰余金	402	502	+99

<sup>(1)</sup> 連結対象の豪持株会社(TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd)に係る数値

<sup>(2)</sup> オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております(修正利益を除く)

#### 感応度(1)

#### 含み損益ゼロ水準(2)

#### 国内株式

日経平均株価 1,000円の変動で 1,700億円の増減 (2015年3月末:1,700億円)

日経平均株価 ¥9,300

(2015年3月末:¥8.900)

#### 国内债券

10年国債利回り 10bpの変動で 2,600億円の増減<sup>※</sup> (2015年3月末: 2,600億円)

※その他有価証券区分:300億円の増減 (2015年3月末:300億円)

#### 10年国債利回り

1.2% ※ (2015年3月末:1.2%)

※その他有価証券区分:1.4% (2015年3月末:1.4%)

#### 外国証券

ドル/円 1円の変動で 280億円の増減 (2015年3月末: 310億円)

ドル/円 \$1 = ¥104 (2015年3月末:¥100)

- (1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度
- (2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準。外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準

#### 本資料の問い合わせ先

第一生命保険株式会社 経営企画部 IR室 電話:050-3780-6930

#### 免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命保険株式会社(以下「当社」という。)は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。